

第943回

定例教育委員会会議録

日 時 令和7年6月30日（月） 15:00～

場 所 保健センター 大ホール

益田市教育委員会

第943回 教育委員会定例会

招集年月日 令和7年6月30日（月） 15:00～

招集場所 保健センター 大ホール

議事日程

第1 会議録の承認について

第2 教育長報告

第3 議題

議第17号 感謝状の贈呈について

報第16号 第570回益田市議会定例会一般質問について

報第17号 令和7年度6月益田市一般会計補正予算について

第4 その他

(1) 情報提供

(2) その他

出席者

教育委員会

教 育 長	領 家 芳 明
教 育 委 員	齋 藤 哲 瑯
教 育 委 員	原 田 笑
教 育 委 員	山 本 ひとみ
教 育 委 員	森 脇 達 也

事務局職員

教 育 部 長	藤 本 美 香
教 育 総 務 課 長	齋 藤 勝 義
教 育 総 務 課 参 事	加 田 睦 志
学 校 教 育 課 長	田 原 正 紀
学 校 教 育 課 参 事	杉 原 貴 宏
ひ と づ くり 推 進 課 長	岡 崎 健 次
文 化 振 興 課 長	田 中 一 史
美 都 分 室 長	澄 川 武 寿
匹 見 分 室 長	小 林 晃
教 育 総 務 課 長 補 佐	植 田 拓 也
教 育 総 務 課 主 任 主 事	木 東 地 志 緒 里

領家教育長 定刻となりましたので、ただいまから令和7年度第943回益田市教育委員会定例会を開催いたします。
それでは議事に入らせていただきます。

第1 会議録の承認

領家教育長 前回定例会の会議録につきましては、委員の皆様には先ほど承認いただきましたので、ご報告させていただきます。

第2 教育長報告

領家教育長 5月24日から本日に至るまでの私が関わった行事を資料に載せておりますが、今日はこの中から3点ほどご報告をさせていただきます。

1点目は、5月28日に行われました令和7年度島根県地域の伝統文化助成決定の目録贈呈式に参加してまいりました。これは、明治安田クオリティオブライフ文化財団がそれぞれ日本全国様々な地域の伝統芸能について助成をしてくださるというものです。今回は益田市の三谷神楽社中が対象になりました。伺いましたところ174件の申請がございまして、その中で57件ということですからおよそ5分の2の割合で選定されたところでした。助成額の上限額70万円をいただくことに決まったのは、57件のうち2団体となり、鹿児島県の伊作流鎗馬保存会と、それからこの三谷神楽社中の皆さん方です。選定の理由は、旧美都町では毎年度秋に美都神楽競演大会を開催しておられます。今回その三谷神楽社中では「楠木正成」という演目を復活させたいという強い思いのもと、代々その地域に伝わっている衣装、面を補修する費用として助成を頂きたいということで、およそ約100万円の予算のうち70万円の助成が決定しました。

当日は、明治安田クオリティオブライフ文化財団の担当者の方が来られまして、「私は1つ任務（使命・目的）があります」と言われました。その内容は、明治安田クオリティオブライフ文化財団の地域の伝統文化という広報紙の表紙を三谷神楽社中の皆さんに飾ってほしいということでした。三谷神楽社中の代表の方が快く取材に応じられ、撮影も無事に終わりました。島根県内の大勢の明治安田生命の方たちも来てくださりました。今回の大阪万博でも石見神楽が披露され、

浜田市の団体が55頭の大蛇を登場させるなど、益田市も今度7月末に2日間にわたって大阪万博で披露します。大阪万博での披露が終了した翌日は高槻市で公演をする予定です。石見神楽を盛り上げていただくいい機会になるというのが1つ目でございます。

2つ目は、6月3日に行いました島根県立高校益田コンソーシアム第1回役員会についてのご報告です。これは、未来の担い手育成コンソーシアムというのを立ち上げており、その中から独立して同じような活動をするものとして、昨年度スタートし、今年度このコンソーシアムで実際に様々な活動をするということです。今年度、取り組むこととして大きく3つあります。益田市内にある各高校が地域に貢献していること、あるいは期待されていることを調査してみようということが1つ目です。それから2つ目は、2つの島根県立高校の入学者確保に向けて様々な取り組みをしてみようということです。3つ目は、これまでも取り組んでいますが、益田市のライフキャリア教育の具現化も含めて、各高校の魅力化への支援を行うことです。この2つ目の入学者確保に向けて、今年度初めての取り組みとして、益田市内にあります島根県立高校2校が合同で入学説明会をこの7月5日土曜日に市民学習センターで開催されます。今各中学校で募集を始めています。これは、中学3年生の生徒だけが対象ではなく、中学1年生から3年生まで、そして保護者にも来場いただきながら、2つの島根県立高校がどんな特徴がある取り組みをしているのかを紹介しながら、この後の夏休みのオープンスクールにつなげていくことを目的に、2つの高校がそれぞれで力を合わせながら魅力化に関わっていく取り組みを始めていくこととしております。また、今年度は卒業後の進路状況を把握すること、あるいは2つの学校にどんなイメージを持っているとか、そういう調査も含めておこなう計画で進んでおります。

最後は、6月20日午後3時からありました写真集寄贈式です。ふおとみという益田市で活動しておられる写真女子の団体の方々から写真集5点を益田市立図書館に頂きましたので、その贈呈式に参加してまいりました。むらいさちさんという写真家の方を去年の11月9日、10日に益田市にお招きして、ふおとみの皆さん、高校の写真部の皆さん、それから一般で参加してくださった皆さんで撮影会を開催されまし

た。11月9日は益田市駅前周辺を中心に、桐田醤油屋の建物、それからキャバレー赤玉の屋内などが素敵な撮影場所になったそうで、日本に2つしかないキャバレー赤玉については、広島からわざわざ参加いただき、その赤玉のテーブルに置いてあるグラスを撮影することで、とてもきれいな写真が撮影できたそうです。このむらいさちさんという方の写真の色がとてもきれいなので、益田市の図書館にありますのでぜひご覧いただければと思います。

6月28日土曜日には、日本遺産フォトコンテストを開催していますが、それにもふおとみさんが加わってくださっています。写真撮影だけでなく多岐にわたる活動をしている団体でございます。準備等が整いましたら、いつかその日本遺産の写真のコンテストと作品展も行うことにしておりますので、文化振興課から皆さんに案内があると思います。以上、たくさんある中で3点ですけれど、私がこの間関わった報告についてご説明をさせていただきました。

続きまして、6月に頂きました寄附・寄贈について2点ありましたのでご紹介をさせていただきます。ふおとみ様につきましては、先ほどご紹介したとおりです。もう一点は、毎年度頂いておりますが、日本公衆電話会から益田市内の小学校5年生と、教職員を対象に約660冊こども手帳を頂きました。これは、子どもたちが社会の一員として自分の身を守ることを目的に冊子としてできているものです。日本公衆電話会ですから、いざ何かがあったとき公衆電話をどのように使うかの説明もありますし、SNSで自分の身を守るための方法、あるいはSDGsのために何ができるのか、社会の一員についての記載が多様に書いてあります。学校で夏休み前の指導に活用していただくのももちろんですが、持って帰ったその冊子を家族の皆さんと一緒に見ながら、話題にしてもらえるとうれしいのではないかと思います。益田市は8年連続でこども手帳をいただいておりますが、最初に贈呈をいただいた子どもたちはもう高校3年生に成長しているので長い取り組みだと感じました。以上、私の報告についてと寄附・寄贈について、ご質問あるいはお聞きになりたい点とかがありましたら併せてお話ししますが、よろしいでしょうか。

第3 議題

議第17号

領家教育長

感謝状の贈呈について

それでは、これから議事日程第3議題に移らせていただきます。

本日の会議ですが、議事案件が1件、報告案件が2件となります。

それでは、議第17号感謝状の贈呈について事務局より説明を求めます。

岡崎課長

教育委員会の感謝状被贈呈者推薦書を提出しました。こちらにつきましては、本年5月21日に益田市内のある方から図書館の予算についてお問合せがあり、ぜひできるだけ幼児向けや子ども向けの図書をさらに充実したいという旨を伺いまして、額面にして100万円の寄附をいただいたものでございます。これにつきましては、益田市教育委員会感謝状贈呈要綱にあります第2条の2項に市の教育に資するため多額の金品を寄附した方に対して感謝状を贈呈できることが規定されてございますので、ぜひ感謝状として感謝の意を表していきたいということから、今回議題としたところでございます。内容については以上でございます。

領家教育長

ただいま説明した件についてご質問等ありましたら伺います。いかがでしょうか。

森脇委員

こちらについては、本の購入後に益田市内の小・中学校や保育所へご紹介等はどのようにされる予定でしょうか。寄贈をいただいたという情報や、幼保児向けの書籍が入荷したという情報が伝わると思います。いかがでしょうか。

岡崎課長

現在も図書館と学校図書室との間では、新書の購入についても協議しているところでございます。選書についても一任されておまして、現在図書館の職員と、今まで人気があり傷んでいる図書を取り替えたいというものや、改めて新書として購入したいというものも、今時間をかけて選書しているところです。そういった図書が入荷次第寄附いただきましたご本人にも報告しますが、利用者の皆さんにもより広く、まず知っていただくことも含めて、情報発信をしっかりとしていきたいと思っております。よろしくお願ひします。

領家教育長

そのほかいかがでしょうか。それでは、採決に移らせていただきます。

教育委員

本件につきまして賛成の方、挙手をお願いいたします。
＝挙手全員＝

領家教育長

ありがとうございます。賛成者多数のため、本件は承認されました。では、事務局は必要な手続を進めてください。

報第16号 第570回益田市議会定例会一般質問について

領家教育長

続きまして、報第16号第570回益田市議会定例会一般質問について事務局より説明をお願いします。

藤本部長

それでは、6月定例市議会で行われました一般質問の概要について報告をさせていただきます。12名のうちの5名の方から教育に関わる質問をいただきました。内容について簡単にお話をさせていただきます。資料と併せてご覧いただけたらと思います。

まず、お一人目が豊田議員さんからです。豊田議員さんからは、昨年度実施しました夏フェスの際に設置された福祉ブースについて、益田市内の高校生が介護ロボや車椅子、高齢者疑似体験を実施したり、介護技術コンテストの様子を記録した映像の上映等をされたり、あと包括連携協定を締結している美作大学の学生もスタッフとして参加し大盛況であったことから、今年8月に開催する夏フェスへの教育長の意気込みについてのご質問でございました。回答といたしまして、開催の目的については、益田市のひとつづくりの取り組みを多くの人に知っていただくこと、そのコンセプトとして益田市ひとつづくり協働構想の具現化を基本としており、3つの視点の目指す人の姿を大切に発信していきたいということです。また、今年度は「たくさん育ちがあふれ出す」をテーマとし、どんな人が育っているのかの見える化とその育ちの土壌や仕組みについて知る体験場づくり、新たなつながりや学び、対話が生まれる場づくりなどを表現できるよう検討を進めている状況を実現し、情報発信については、益田市が持つあらゆる広報媒体を駆使し「ひとが育ち輝くまち 益田」のイメージの浸透が図られるよう効果的に発信し、昨年度同様来場者との触れ合いや対話の機会をつくっていききたいと教育長が答弁されました。

続きまして、河野議員さんです。河野議員さんからは、小・中学校の環境整備について、特別教室への冷房設備設置の検討状況と設備更新と具体的な計画についてのご質問でございました。まず1点目、検討状況についてです。答弁といたしまして、学級数や児童・生徒数、特別教室を多く抱える学校が特別教室を頻繁に活用していると考えられ、調査対象を検討した結

果、児童・生徒数が100人以上で特別教室を多く抱える益田市内小学校6校、中学校4校を対象としてエアコンが未設置の特別教室、小学校30室、中学校33室ある状況を調査いたしました。調査方法としては、令和6年度の実績に基づき、教科ごとの授業実施時間数に伴う特別教室の年間使用回数を調査することにより活用頻度を求めるとともに、学校へも優先すべき教室の希望も伺ったところであると教育長が答弁いたしました。

2点目については、トイレの整備と並行した早期の計画が必要であるという河野議員さんの考えということで、検討状況を踏まえた特別教室の整備方針と具体的な計画を示してほしいとの内容でございました。これについての答弁であります。調査結果により必要性の高い教室への設置を考えるとともに、これまで開口部が大きいことからエアコンの設置を見送ってきた小・中学校の学校図書室への整備について検討を進めていくことと、限られた財源の中でまずは優先的に進めることとしている学校トイレの改修などを踏まえ、具体的な計画の策定に向け引き続き研究していくことを教育長より答弁いたしました。

続きまして、大久保議員さんからの質問です。第2次ますだ食と農の基本計画における食と農に関する理解の増進について、教育行政としての取り組みを問う内容でした。学習指導要領の位置づけについて触れ、具体例として総合的な学習の時間における地域や学校の特色を生かした食と農の学習について、都茂小学校のアイガモ農法による米作り、それから農林水産課の事業を活用して行いました豊川小学校3、4年生が社会科の時間で農業に従事する大人との対話交流学习としてのブドウ収穫体験等を紹介し、その中でお客さんがおいしいと言う一言に苦労を忘れるほどの生きがいややりがいを感じるという生産者のお話などを生かすことで、子どもたちが食と農が果たす役割の重要性を理解し、持続可能な社会の実現に向けて、それを支える一員となるよう取り組みを続けていくことを教育長よりお答えいたしました。

2点目は、学校給食における益田産食材の使用割合を増やす対策についての質問です。食材の益田産使用割合の3年間の推移を説明し、これまで益田産食材の活用に対し益田市が予算を措置したり、献立作成時に益田産食材の使用を増やすような工夫をしたりすることによりまして、一定程度の使用割合が増えてきましたけれども、人々の努力のみならず自然現象に起因し

て出荷量が減ることも使用率の増減などが要因となっていることをお伝えし、今後の取り組みとしまして、この秋を目途に益田市学校給食会、農林水産課とともに生産者や卸業者と学校給食の使用可能な食材の出荷時期などの情報共有を行う場を設け、これまで以上に連携を深めていくことをお伝えしたところです。

それから、3点目です。有機農産物を学校給食の食材として利用することの考えについてのご質問です。益田市におきましては、3,000食を超える食数を調理する益田市の学校給食では栄養教諭による献立作成が2か月前から行われていること、それから使われる食材は数量や大きさ等が安定的に確保されることが必要であり、2か月前までには必要な食材の調達を見通せることが条件であるというところがあります。そして、保護者から全額給食の材料費を賄っているため納入価格も調整が必要となることから、現時点では学校給食への利用には幾つかの課題があるという認識を持っている旨を教育長より答弁いたしました。

続きまして、河本議員さんです。農業振興についての関連の中で、教育部に関しましては、昨年度給食費を値上げしているけれども、本年度既に米の買取り価格が上がる方向性が出ている状況下で、学校給食への影響についてはどうだろうかというご質問でした。学校給食会とJAで米を契約しておりますけれども、現時点におきましては、昨年の秋からの契約額につきまして、値上げはなく変更がない状態でございます。そういったところから、現時点では給食への影響はない現状をお伝えし、今後新米が出てくる秋以降、契約額のさらなる上昇が見込まれる中で、島根県が支援する給食費緊急支援事業の活用や価格上昇を吸収する献立等での工夫をすることなどによりまして、米飯の日数を変えることなく必要な栄養摂取量の基準を満たした給食の提供に努めるとお答えをいたしました。

最後ですけれども、阿知波議員さんからのご質問です。まず、産業経済部に対して、外国人就労者の現状や就労者への対策等について質問され、その後、教育部につきましては外国籍を持つ児童・生徒が存在しているかどうかというお尋ねでした。回答といたしましては、益田市内小・中学校に在籍している外国籍を持つ児童・生徒数は、令和7年5月1日現在で小学校7名、中学校2名、合計9名であるとお答えいたしました。以上、簡単ではございますが、回答について説明をさせていただきます。

いただきました。

領家教育長

それでは、ただいま説明した件につきまして、ご質問等あればお願いいたします。よろしいでしょうか。

教育委員

=全員了承=

報第17号 令和7年度6月益田市一般会計補正予算について

領家教育長

続きまして、報第17号令和7年度6月益田市一般会計補正予算について事務局より説明をお願いします。

田原課長

いじめ・不登校等対策推進事業費ということで、補正内容としましてはスクールソーシャルワーカー活用事業委託額の増に伴う増額ということで、スクールソーシャルワーカーの活用にあたりましては、益田市では島根県からの委託金と益田市の持ち出しとを合わせて事業をしております。令和7年度については、島根県全体の予算が増額されたということをもって配分の見直しがされ、90万円の増額ということでこのたび補正をしたところでございます。以上です。

田中課長

私からは、市内遺跡発掘調査等事業費22万円の補正となっております。これは、埋蔵文化財包蔵地（七尾町）内住宅建設に伴う発掘調査のための増額ということになっております。住宅等を建設する場合、土地を深く掘って遺跡を傷めてはならないので、事前に調査をおこなうという事業になります。今回補正をして調査を行うことになっております。以上です。

領家教育長

ありがとうございました。ただいま説明した件につきまして、ご質問等あればお願いいたします。よろしいでしょうか。

教育委員

=全員了承=

領家教育長

それでは本日予定しておりました議事全てが終了いたしました。これをもちまして第943回益田市教育委員会定例会を終了させていただきます。本日はありがとうございました。

=終了時間 15時40分=